



## 学校だより 6月号 つなぐ



### 世の中はつながっている

#### ～ 桜陵祭を迎える ～

この3カ月余り週末となると必ず雨が降るといい、ニュースにも取り上げられています。富士山を見れば山肌には雪が残り、5月末には新たな積雪も見られ、この後の季節はどのように進んでいくのかという思いになります。気温は確実に上がり、真夏日も観測するような時期となりますので、熱中症対策は重要です。細目に水分や塩分を補給するようにして熱中症予防に努め、また季節の変わり目ですので、健康管理には十分気をつけましょう。

ところで、先日、縁あって私は日本大学歯学部及び松戸歯学部の両学部を訪問し、学部長にお会いする機会を得ました。訪問の目的は高大連携や高大接続の教育について相談することです。とは言えお話しが進んでいく中で現在の歯科医療に関することをうかがいました。私も誤解していたり、知らないことがあったり、内容は非常に新鮮で勉強になりました。「コンビニより多い歯科医院」と言われますが、いまや日本の歯科医の平均年齢は60歳をこえ、少子化が及ぼす影響に対する危機感もあり、歯科医の育成が重要であることを教えていただきました。また日本大学出身の歯科医は全体の約10%を占めており、そのネットワークは強固とのことで、卒業生のつながりというのはこの世界にも広がっていると感じるとともに、社会においてつながりの大切さを改めて学びました。また歯学部では本校の卒業生が教授となっており、当日直接お話ししてお話しをうかがいました。先端研究に関わる重要な取組をなされ、現在も三島市から東京の学部まで通勤されているとのことで、「ぜひ母校のために協力いたします。」という心強いお言葉もいただきました。両学部ともに本校の卒業生がいろいろな分野で学部を支えているようでありがたいことを実感した訪問となりました。

私が今回訪問して、「歯医者さんのイメージが虫歯の治療と思われがちですが、今は少ないですよ。」という言葉いただきましたが、職業に関して古いイメージが先行し、思い込みが強いので、私自身が物事の本質をしっかりと見ているのか疑問に感じました。そして学校教育におけるキャリア教育の重要性が指摘されていますが、実際に見る・聴く・触れるということは大切な機会であることを改めて学びました。本校は日本大学の付属校ですので、大学教育や研究を目の当たりにできる環境にあります。とかく単位の修得や探究活動の実践など高大連携を難しく考え、できないと思っていますが、少し発想を変えてみるだけで、自分の将来につながる世界を体験できる機会をつくることができます。また本校の卒業生は日本大学に限らず様々な大学で研究者となり、つながることが可能です。さらに大学に限らず社会で活躍する、社会を支える卒業生は多いですので、様々な機会を通じてつながり、ネットワークを活用した教育を展開していく重要性を認識するとともに実現に向けて行動します。

今週末(6/14・15)は本校の文化祭である桜陵祭を迎えます。今年の桜陵祭のテーマは「遡(さかのぼる)～新風起こせ英雄たち～」です。伝統を引き継ぎつつ、新たな風を起こそうとする思いを、生徒会が中心となった桜陵祭実行委員がチームをつくり文化祭の運営にあたり表現します。この文化祭では、保護者の方をはじめ、卒業生や地域の人々との交流を通じて、様々な人とのつながりが大切であることを学んで欲しいと願っています。そう世の中は様々な人たちの縁がありつながっているのです。そのつながりに感謝していきたいものです。